

NO. 5	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	4	竹 田 努	
<p>1. 「未来にチャレンジする委員会」(仮称) について</p> <p>(1) 鈴木町政2期目の挑戦、第7次振興計画スタート年、多くの課題を抱えての令和6年の幕開けと思います。</p> <p>私は町の課題は人口減少と財政と認識しておりますが、最大の財源である地方交付税の積算の基となる人口は、令和2年の国勢調査では3,832人で、前回より715人減少しています。幸い、令和元年以降5年間の推移では、税金、地方交付税については年次によって増減はあるものの、令和元年と比較して増加しているという状況をどのように捉えておりますか。この5年間の推移等から町長の見解を伺います。</p> <p>(2) 歯止めのかからない人口減少、10年後は2千人台になっているのではないかと危惧するところです。第7次木古内町振興計画の基本構想では、7年後の令和12年には3,019人と推計しており、今後は各担当課で持っている事業計画に沿って事業が展開されるものと思っています。</p> <p>町長は常日頃から町民に寄り添う姿勢、さまざまなご意見やご助言をいただきながら、「今と未来を守るために挑戦する」と執行方針で強調しています。これまでも「お出かけ町長室」をはじめ、町民の声に耳を傾ける姿勢から、行政と町民との協働を実現、実行するためには何らかの組織が必要と思いますので、「未来にチャレンジする委員会」(仮称)を設置すべきと考えますが、町長のお考えを伺います。</p>			町 長
<p>2. 交通安全街頭啓発用ウェアについて</p> <p>交通安全の推進には町内会をはじめ、町内事業所等による街頭啓発など、町民総ぐるみ運動として展開しており、多少の悪天候等でも活動されていることには頭の下がる思いであります。</p> <p>地域住民による早朝時の街頭啓発が交通安全、事故死ゼロ等の一翼を担っていると思います。</p> <p>ぜひ、交通安全推進と関係者の安全確保のために、黄色などの目立つ色のウェアを支給すべきと考えますが、町長の見解を伺います。</p>			町 長